

如何にも蒸氣(じょうき)よき田舎のお祭り

第八十九席

悟道軒圓玉口演

は四月六日の事、丁度壬生寺に花
開りがございまして御覽覧やう
を幸ひ、侍女共にもお披露ねす
に源頼公、宛て、一紙のお書状を
遣して置いて庭の門から脱出し、
足を早めて山科まで急いで行く
往來の男女夥多しい殿でございま
すから陣へ入る暇もなほなく
小走りにて走つて五條の橋を渡り本
町通りを南に伏見街道へ差懸つて
参ります、丁度清尾社近く参り
ました時はモロモロ三更を經て人
通りも途絶へた物邊き、何となく
ても歩きつづける女の足でございま
すから袂を草臥れて後れ歸となり
伊「お嬢様、お草臥でございませう
白「イニ、妾よりお前の方が勞れた
らうね 伊「イニ妾は歩行馴れて居
りますから少しも草臥れはいたし
ませんが、まだ餘程ございますか
白「さア、妾も前には興物で來たの
だから能くは分らないけれどもま
だ半分ぐらいはあるだらうね 伊「
持つて下さいよう……」と今は刃
お身を忘れて耳許に口を寄せて呵
ふら其膝を壓つたものと見ゆ
ふから駈けて來た人の髪、深紅
笠に面を包み浪人風の扮装をして
居りますが未だ若さうな武士
馳参つて、武何うかしたか、急
を見ゆるな 伊「ハイ妾の姉でござい
ますが仔細あつて山科まで参
ります途中、急に疵が發りまして
一人で何うにも介抱が屈きませ
うどうぞお助け下さいと武
は氣の毒千萬、中々癒は女の方
は無益だ、宜し拙者が介抱して遣
はす、反らしてはならんから捕
に任せろ、御身は早く其處等を
れて丹戸まで流れても水を汲ん
て來て呉れ 伊「ハイどうぞそれ
で御介抱を願ひます」と頼んで置
てお伊達は向うの方へ駈けて行
く殿で右の武士は膝を折つて自妙
背に押當て、右の手で脇の下か
脇を抱締め、左の手で腕を抱へ
腕かやうにして押へて居る、

櫻井町 大正館
電話八七三

牛乳
成鮮
用御

電話一〇六九號

同野牧場

京東城四軒町

ゴツクリ咽喉へ通りましたから、
の支へが下りハツと氣が付くこ
ツツリ目を開いた、お伊登は善
んで伊織に氣が付きましたし
てまつれて安心した。聞手
背を懸下して抱起す。所から光
室間の星明り、初めて兩人が顔
見合せた

五月三十日九星
春四月廿八日丁丑
本宿五廿八日成勝赤

「五武」なるかき立てる音も亦昨日黎明に見え
たが殆ど無くなつた。六月一日朝の暁の日の昇
る時、又も一層の静寂が訪ふやうな気がした。

定特
 製藥士
 日名に居ながら速成獨習致
 定名に製藥士なる品出無誤
 定名に製藥士なる品出無誤

[illegible][illegible][illegible]

常世物語と評語 活劇 一巻
 文藝新報と評語 活劇 一巻
 大活劇 山賊と貴族夫人 全三巻
 狼児物語 二巻の水 全五巻
 風を渡る鳥は可憐な鳥 一巻 出陣
 花の道草 一巻 出陣
 花の道草 二巻 出陣
 花の道草 三巻 出陣
 花の道草 四巻 出陣
 花の道草 五巻 出陣
 花の道草 六巻 出陣
 花の道草 七巻 出陣
 花の道草 八巻 出陣
 花の道草 九巻 出陣
 花の道草 十巻 出陣
 花の道草 十一巻 出陣
 花の道草 十二巻 出陣
 花の道草 十三巻 出陣
 花の道草 十四巻 出陣
 花の道草 十五巻 出陣
 花の道草 十六巻 出陣
 花の道草 十七巻 出陣
 花の道草 十八巻 出陣
 花の道草 十九巻 出陣
 花の道草 二十巻 出陣
 花の道草 二十一巻 出陣
 花の道草 二十二巻 出陣
 花の道草 二十三巻 出陣
 花の道草 二十四巻 出陣
 花の道草 二十五巻 出陣
 花の道草 二十六巻 出陣
 花の道草 二十七巻 出陣
 花の道草 二十八巻 出陣
 花の道草 二十九巻 出陣
 花の道草 三十巻 出陣
 花の道草 三十一巻 出陣
 花の道草 三十二巻 出陣
 花の道草 三十三巻 出陣
 花の道草 三十四巻 出陣
 花の道草 三十五巻 出陣
 花の道草 三十六巻 出陣
 花の道草 三十七巻 出陣
 花の道草 三十八巻 出陣
 花の道草 三十九巻 出陣
 花の道草 四十巻 出陣
 花の道草 四十一巻 出陣
 花の道草 四十二巻 出陣
 花の道草 四十三巻 出陣
 花の道草 四十四巻 出陣
 花の道草 四十五巻 出陣
 花の道草 四十六巻 出陣
 花の道草 四十七巻 出陣
 花の道草 四十八巻 出陣
 花の道草 四十九巻 出陣
 花の道草 五十巻 出陣
 花の道草 五十一巻 出陣
 花の道草 五十二巻 出陣
 花の道草 五十三巻 出陣
 花の道草 五十四巻 出陣
 花の道草 五十五巻 出陣
 花の道草 五十六巻 出陣
 花の道草 五十七巻 出陣
 花の道草 五十八巻 出陣
 花の道草 五十九巻 出陣
 花の道草 六十巻 出陣
 花の道草 六十一巻 出陣
 花の道草 六十二巻 出陣
 花の道草 六十三巻 出陣
 花の道草 六十四巻 出陣
 花の道草 六十五巻 出陣
 花の道草 六十六巻 出陣
 花の道草 六十七巻 出陣
 花の道草 六十八巻 出陣
 花の道草 六十九巻 出陣
 花の道草 七十巻 出陣
 花の道草 七十一巻 出陣
 花の道草 七十二巻 出陣
 花の道草 七十三巻 出陣
 花の道草 七十四巻 出陣
 花の道草 七十五巻 出陣
 花の道草 七十六巻 出陣
 花の道草 七十七巻 出陣
 花の道草 七十八巻 出陣
 花の道草 七十九巻 出陣
 花の道草 八十巻 出陣
 花の道草 八十一巻 出陣
 花の道草 八十二巻 出陣
 花の道草 八十三巻 出陣
 花の道草 八十四巻 出陣
 花の道草 八十五巻 出陣
 花の道草 八十六巻 出陣
 花の道草 八十七巻 出陣
 花の道草 八十八巻 出陣
 花の道草 八十九巻 出陣
 花の道草 九十巻 出陣
 花の道草 九十一巻 出陣
 花の道草 九十二巻 出陣
 花の道草 九十三巻 出陣
 花の道草 九十四巻 出陣
 花の道草 九十五巻 出陣
 花の道草 九十六巻 出陣
 花の道草 九十七巻 出陣
 花の道草 九十八巻 出陣
 花の道草 九十九巻 出陣
 花の道草 一百巻 出陣

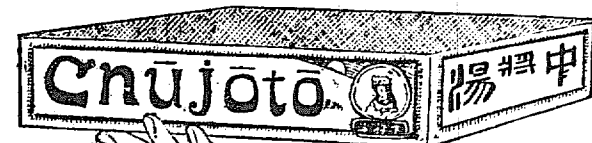
[illegible]

九龍醫院
 醫學博士 古城憲治
 內科 小兒科
 醫院隨章
 無料治療
 每日五名限
 目下一町治明東京
 番四二話電

——勅偉の湯將中るせ越超を學科——

純理的醫學を唱導せし歐米の醫界に、近時和漢藥の研究勃興して、東洋民族が數千年前より神秘的に靈妙偉効を稱へつゝありし人參劑の如きも、彼の有名なるドクトル、エフ、スミス氏の如き熱心なる研究者現はれて、その顯著なる醫治的効果を臨床實驗の見地より立證するに至れり、東洋隨一の婦人藥として知られたる中將湯の卓効作用に就ては、未だ現代の科學の權威を以てするも充分なる説明をなし難き獨特なる成分を含有し、而も些少の有毒性なく何等の副作用を伴はざる理想的溫和劑なることを承認するに至れり。

歐米の婦人が
 賞讃する理由
 中將湯を
 靈藥 國産



見し市日本橋區通町丁目
津村順天堂本店
電話本局六二・六三
銀座東京六〇八號
大阪市堺新大覺寺町
津村順天堂支店
電話南二五五
横口座大五四六號

Modern sciences, being made rapid progress, the present world seems as if it were from the medical and pharmaceutical points of view entirely different from that which existed in one century ago. But, there still remain many things, as to the very effects of naturo medicine, which even the authority of modern sciences can not explain them.

"CHUJOTO" known all over the world as the only one of the specific of woman's disease is mysterious in its virtues, and therefore the medical and pharmaceutical scientists in Europe and America are now engaging in the study through a clinical experiment.

明治神宮

神苑へ朝鮮から獻木

明治神宮の神苑は、多岐にわたる樹木を有する。今や神苑の樹木は、朝鮮から獻木されたものが多い。朝鮮の樹木は、日本の樹木と異なり、その樹形が美しく、葉の色も鮮やかである。神苑の樹木は、日本の樹木と異なり、その樹形が美しく、葉の色も鮮やかである。神苑の樹木は、日本の樹木と異なり、その樹形が美しく、葉の色も鮮やかである。

洋畫は漸次日本畫に

洋畫の最近の傾向。洋畫の最近の傾向は、日本畫に近づいている。洋畫の最近の傾向は、日本畫に近づいている。洋畫の最近の傾向は、日本畫に近づいている。洋畫の最近の傾向は、日本畫に近づいている。洋畫の最近の傾向は、日本畫に近づいている。

閑院宮台臨

閑院宮殿下は、皇族の進退式に出席された。閑院宮殿下は、皇族の進退式に出席された。閑院宮殿下は、皇族の進退式に出席された。閑院宮殿下は、皇族の進退式に出席された。閑院宮殿下は、皇族の進退式に出席された。



閑院宮殿下の御姿

遺骸は春洋丸で歸る

遺骸は春洋丸で歸る。遺骸は春洋丸で歸る。遺骸は春洋丸で歸る。遺骸は春洋丸で歸る。遺骸は春洋丸で歸る。

故阿部義典氏の事

故阿部義典氏の事。故阿部義典氏の事。故阿部義典氏の事。故阿部義典氏の事。故阿部義典氏の事。



故阿部義典氏の御姿

貨車十八輛粉砕す

貨車十八輛粉砕す。貨車十八輛粉砕す。貨車十八輛粉砕す。貨車十八輛粉砕す。貨車十八輛粉砕す。

東京日新報社。東京日新報社。東京日新報社。東京日新報社。東京日新報社。

東京日新報社。東京日新報社。東京日新報社。東京日新報社。東京日新報社。

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

肝油ドロップス. 肝油ドロップス. 肝油ドロップス. 肝油ドロップス. 肝油ドロップス.

大阪中谷青霞

卷之八
五十五

電話一五七五

大頭

○はつなつ 豊果

て行くなり
かはたれの月が眠かす音楽せる一むら木立
はすのなきやまわかし
○ゴブラ
やはらかきゴブラの落葉ゆるがすあしたた
風のふきのよるし

大正七年五月二十

[illegible]

11

四節に上押し三節四段と下這ひし

朝から内に居る籠をうごく妻
眠くなつて籠の上下を見る
話あとやさき籠まかるゝ
口汚なく籠をはなれ一人さ
煙草のまづい煙が籠をのぼる
雨なる籠のなかの人々
田柿
可々

讀者
 方領



本間 永永 町二丁目
 百餘軒の家敷の果ひな
 にて法君を探れらるゝ
 歳しありましたが年餘

歳にて招好き婦人あり仰世留致しだ
 擧にて番地氏名の通知を乞ふ 漢名氏 〇〇

御所官舎の二人の武將さんには御大姫共といふ御姉様のよし聞けば同じ房に認めゝこゝろ何故の原因ならんか判別は甚しうが上官は如何見られつらん兩君もサツられては如何又問生（一）即裁察賢徳大津（二）明元澤洲公主旅クツ料理店へ明治四年に御姉公をなしたるものなるが其大津御前御具なるものと關係なきが

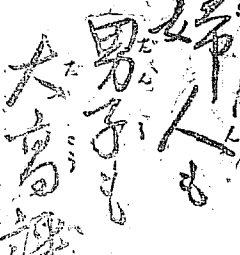
七八九十士志蓋函書共七式

四節に上仰し三節四段と下這ひし
 りに於て太阪四節八十四段の
 五段を都

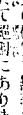
醫學博士藥學士合議發明

價目表

全園各地の有名化粧品店 小間物店織店にて販賣す	定價 一瓶 貳拾五錢	貳オンス入
----------------------------	------------	-------




世にも驚くべき白色品と称し
 美客船の運搬品と云ふ。然し
 代の科學の力を以て之を
 き渡つて居ります。又乳はこ
 白成分の確證と稱するものは現
 代に於て絶對にありません。



美乳の
し、最も完全な皮膚の根本組織を
白く美しく艶々しく又柔らかき
事天衣無縫に觸る如にする美乳獨
特の不思議の作用があります。

既に抑の如き成分作用を有する美乳であり
ますから、抑も又更に驚くべきもので之を常用し



僅か一瓶で美

1

試驗は多少

振營口座大碗一〇三六

名者定

阪海橫斷記加藤 久勝 一二三
 京城
 本町 大阪屋號
 電話六四番 二〇八六番
 振替京城 二五七三番
 (本店東京(同店)大連放順鐵嶺釜山)

ばいじん毒
 肺病帝王は治癒劇といふ
 毒帝王は肺病内服薬とし
 左肺病と最有効と確定し
 帝國醫科大學
 病院長

大坂有田 腹を賣
にせ物と好商

大坂商船會社
船出帆廣告
氣

上海、基隆、打狗行 湖北九 六月九日 前六時 基隆九 六月廿一日 後四時	大連出帆 五月三十日 後九時	宮島丸 五月三十日 後九時	釜山、博覽、宇品、神戶、大國 五月三十日 後九時
--------------------------------------------	-------------------	------------------	-----------------------------

內地各港出帆主要航路
 濠洲行 每月二回

京城 切符發所 切符所
仁同 內通 待發 會前安店 電話七〇
專辦仲仁 仁同 切符發所 開源底面 電話二六
專辦仲仁 仁同 切符發所 開源底面 電話二六
專辦仲仁 仁同 切符發所 開源底面 電話二六

大連直行 五月廿一日
共同丸 五月廿一日
共同汽船

朝鮮郵船
天機船種等爲水要番日開船
之候ニ付詳細ハ本棧及支店
現店取店ニツキモ承知下座

○元山雄基線	六月一日	元山
○大阪行	六月七日	元山
○關門行	六月九日	元山
○京畿山丸	六月五日	元山

東 國 公 州 丸	○釜山浦頂線油山生補方 江陵丸、金海丸、每日釜山浦 昌平丸 六月四日 釜山
濟州島行 木浦接	○濟州島行 釜山發承永順水厚大
東 國 公 州 丸	○濟州島行 木浦接 東國公州丸
六月三日	六月六日

○木浦行	仁川至釜山 五月三十日
○晉州九	仁川至江華、新羅、蔚山 六月二日
○海州行	仁川至江華、新羅、蔚山 六月三日
○錦江九	成歡九每日一回 仁川至蔚山
○鎮南浦行	仁川至新羅、蔚山 六月二日
○全州九	六月二日
○青島行	仁川至濟南、大連 五月三十日
○江原九	五月三十日

京城南大門驛前
（其他各營地二軒客取店）